

バリ
トン
リ
サイ
タル

小
森
輝
彦

T E R U H I K O K O M O R I
B A R I T O N E R E C I T A L
S C H U B E R T
W I N T E R R E I S E

シューベルト

冬の旅

出演

小森 輝彦 (バリトン) 井出 徳彦 (ピアノ)

2025 3.14 FRI

PROGRAM

フランツ・シューベルト：作曲
Franz Schubert

ヴィルヘルム・ミュラー：詩
Wilhelm Müller

歌曲集「冬の旅」(全曲)
Winterreise D 911

開演 19:00 開場 18:30 会場 **トッパンホール** 全指定席 一般 4,500^{※1}円 学生 2,000^{※2}円


※1 二期会オペラ愛好会会員・トッパンホールクラブ会員：割引あり ※2 入場時に学生証のご提示をお願いいたします

チケット発売

二期会チケットセンター > Tel. 03-3796-1831 (平日 10-18 時 / 土曜 10-15 時 / 日祝休) <https://nikikai.jp/ticket> (24 時間受付)

トッパンホールチケットセンター > Tel. 03-5840-2222 (平日 10-18 時 / 土日祝休) <https://www.toppanhall.com> (24 時間受付)

2024 年 12 月 14 日 (土) チケットぴあ > <https://t.pia.jp> (P コード 285-077)

後援  ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ
ドイツ連邦共和国大使館 後援・マネジメント：公益財団法人東京二期会

小森 輝彦 バリトンリサイタル

ドイツリートを歌うバリトン誰もが憧れとともに仰ぎ見るこの歌曲集にやっと挑戦することが出来ます。学生の頃からずっと歌っては来たけれどステージに乗せるのは今を待つ必要があった。リート歌手としてのスキル。ドイツの劇場文化に対するドイツ宮廷歌手としての責任。オラトリオ歌手として大いなる力や運命と対峙した中で授かった靈感。全てを懸けて臨みます。

プロフィール

プラハ州立歌劇場「椿姫」ジェルモン役で欧州デビュー後、独アルテンブルク・ゲラ市立歌劇場専属第一バリトンとして12年間活躍。同劇場で数々のタイトルロールを務める傍らザルツブルク音楽祭をはじめヨーロッパ各地に客演し、演じた役は82を数える。17年のドイツ生活を終え日本人初のドイツ宮廷歌手の称号を得て2012年に帰国。帰国後も東京二期会、新国立劇場などの公演で数多くの主役を務め流麗な歌唱と強い存在感で公演を成功に導いている。

ドイツ在住時からリート演奏を広く展開し、深い文学的解釈に裏付けられた表現力で聴衆を魅了。高く評価され、2019年にリリースした初CD「R. シュトラウス歌曲集」はレコード芸術準特選盤。

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所、ベルリン芸術大学で学ぶ。五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。東京音楽大学教授。日本声楽発声学会理事。日本R. シュトラウス協会常務理事。二期会会員。

公式ホームページ <https://www.teru.de>

きわだつドラマ性

～堀 朋平（音楽美学／住友生命いずみホール音楽アドバイザー）のCDブックレット解説より～

移調に際して小森さんが選んだ答えは、シューベルトが最終的に行きついた調関係を忠実に再現するというもの。留学中にマスタークラスで学んだアンドラーシュ・シフの言葉に啓発されての選択だという。

ハンス・ホッターやマティアス・ゲルネをはじめとする歌手たちが放棄せざるをえなかった統一性が実現し、これまでの移調譜が概して避けてきた難解な調を厭わないことで、独特の暗さが随所に噴出する。第10曲「休息」を聴いてほしい。人知を超えた、耳をそむけたいくなるほどの、まるで神の漏らす嘆息とさえ呼びたくなる倦怠感たるや、すさまじいものだ。小森さんが《指環》のヴォータンの歌い手でもあることを思うと、神の愛鳥＝カラスに呼びかける低音（変口音）も狂気をはらんだ傍白のように聞こえてくるし、「われら自身が神になる」のルパートも迫真の効果を発揮する（第15、22曲）。この伸縮に寄り添って音の幅を広げるパートナー＝井出徳彦さんのピアノもすばらしい。

歴史を振り返ってみると、小森さんと同じオペラ歌手でも、たとえばホッターは、劇中の人物に自分を同一化するよりもむしろストーリーテラーに徹したし、フィッシャー＝ディースカウは惱める生身の青年といった新しい表現で革命を起こした。

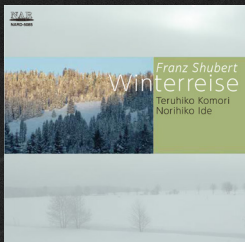
そのどちらにも学んだことがある小森さんは、どちらにもない表現へと一歩を進めた。マティアス・ゲルネやベンジャミン・アップルといった、どちらかというクールな歌唱を得意とするバリトン歌手が多い今世紀にあって、本ディスクは大きなインパクトを残すにちがいない。



井出 徳彦 ピアノ

Norihiko Ide, Piano

静岡県出身。桐朋学園芸術短期大学ピアノ専修卒業。2006年にオーストリアへ渡り、ウィーン国立音楽大学歌曲伴奏科にてDavid Lutz氏の下で研鑽を積む。2012年夏に帰国。帰国後は伴奏者として、北九州国際音楽祭ドイツ歌曲サロンコンサート、日本R. シュトラウス協会主催の歌曲例会、東京文化会館主催『歌劇ヴォルフイタリア歌曲集』など多数のリート演奏会に出演。また、バリトン小森輝彦氏のCD『R. シュトラウス歌曲集』（2019年）、メゾソプラノ加納悦子氏のCD『A. ヘルク若き日の歌』（2021年）の伴奏をつとめる。その他には、モンゴル民族楽器、馬頭琴の数少ない伴奏者としても活動している。第91回日本音楽コンクール委員会特別賞受賞。現在、東京藝術大学音楽科非常勤講師。



シューベルト：冬の旅 | 小森輝彦

小森輝彦（バリトン）／井出徳彦（ピアノ）

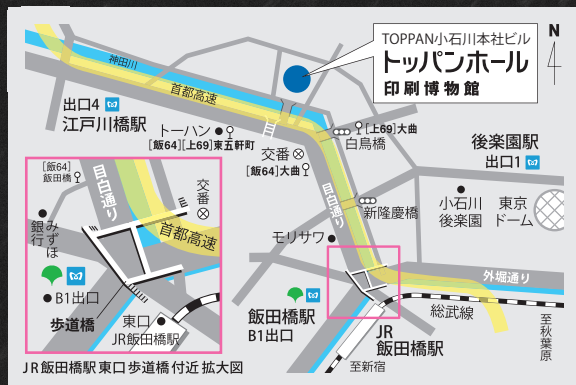
2024年12月13日発売

日本アコースティックレコーズ

NARD-5085 ¥3,080（税込）

交通のご案内

- 江戸川橋駅 地下鉄有楽町線（4番出口）より徒歩約8分
 - 飯田橋駅 JR総武線（東口）、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線（B1出口）より徒歩約13分
 - 後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線（1番出口）より徒歩約10分
 - 都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
- ※地下駐車場をご利用いただけます。（ホールご来場者割引あり）



トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com